

美術科

学習の目標
①興味・関心をもって授業に取り組む。 ②美術の活動を通して、美術的な見方・考え方を身につけ、自分なりの発想や構想ができるようにする。 ③美術の活動を通して、材料・用具の特性を学ぶとともに、自分なりの表現方法を工夫し、作品をつくる力を身につける。 ④美術作品や友達の作品の鑑賞を通し、よさや美しさを感じとり、それを表現し、伝える力を身につける。
授業の参加の仕方
「授業の受け方、美術室の使い方」 ①授業に毎回参加できるようにする。 ②先生の話をしっかり聞く、わからないことは質問する。 ③忘れ物を絶対にしない。忘れ物をしたら、先生に報告する。 ④自分の持ち物にはクラス・番号・名前を書く。 ⑤作品は締め切りまでにきちんと出す。そのため、制作は残り時間を考え、計画的に行う。 ⑥提出物は全て期限内に出す。 ⑦美術室をきれいに保つ。使った物はきれいに整理し、元通りに片づける。毎度、授業の最後には掃除をする。 ⑧1年生の音美の授業については月別カレンダーをよく確認し、係がきちんと連絡する。 「学習のアドバイス」 ①制作に関する準備（道具をそろえる、アイデアを出す）を整えて、授業に参加する。 ②制作のアイデアになりそうなことはないか、自分の好きなもの・色・形は何か、探したり、考えたりする癖をつける。 ③制作に使える時間を考え、見通しをもって活動をする。

評価の観点等
評価の観点 ①・・・②・・・③・・・ 評価規準 ○・・・ 評価方法 ★・・・
①知識・技能 ○学習したことや発想・構想したことを基に、材料や道具の特性を生かし、自分の表現にあう方法を工夫する。(★作品) ○作品を完成させるために計画的に制作を進めることができる。(★作品) ○完成度を高めるためていねいに仕上げることができる。(★作品)
②思考・判断・表現 ○感じたことや考えたことを基に、作品のアイデアを生み出し、実際の作品として表すための構想を練る。(★アイデアスケッチ、作品) ○目的や条件を基に、作品のアイデアを生み出し、伝えたい内容について表すための構想を練る。(★アイデアスケッチ、作品) ○美術作品や友達の作品を鑑賞して、そのよさや美しさを感じとり、感じとったことを言葉で表現し、相手に伝えることができる。(★学習カード、鑑賞カード、鑑賞の試験)
③主体的に学習に取り組む態度 ○美術の授業に対して、積極的に取り組んでいる。(★授業態度、制作の準備) ○提出物の取り組み状況。(★作品、ワークシートなどのプリント類、夏休みの宿題など)
<u>令和6年度より全学年で定期テストを廃止し、授業の活動内容だけの評価にする。</u>
<u>※成績をつける際は、授業への取り組み状況や作品の評価をより重視する。</u>

1年 美術科年間指導計画	
1 学 期	<p>オノマトペ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・擬態語について学び、音の持つ性質からイメージを膨らませて、絵文字を表現する。 <p>顔を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料の形や色からイメージを膨らませ、それらを工夫して人間の表情を表現する。 <p>一本の鉛筆から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆について学び、濃淡の表現等を制作に生かせるようにする。 <p>色の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリルガッシュの使い方について学ぶ。 ・色彩の性質や効果について学び、作品制作に生かせるようにする。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、ゴッホについて学ぶ。 <p><夏休み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館についてのレポート
2 学 期	<p>陶芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸の技法について学ぶと共に、動物をモチーフにした器を制作する。 ・陶土や化粧土といった形や色の表現に限度のある材料から、より自分のイメージに合った作品を表現できるよう工夫することを学ぶ。 <p>透視図法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面作品の中で遠近を表現する方法について学び、作品制作に生かせるようにする。
3 学 期	<p>平面構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然物や人工物など身の回りにあるものを観察し、そのものが持つイメージを生かしながら単純化や強調をするための表現方法を学ぶ。 ・単純化や強調を使って表現したモチーフをもとに、構成美の要素を使った作品構成について学び、それらを工夫して組み合わせながら作品を表現する。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、モネについて学ぶ。

2年 美術科年間指導計画	
1 学 期	<p>心のかたち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現について学ぶとともに、自分の内面にある感情に向き合い、それらの持つイメージを膨らませて作品を表現する。 ・アクリルガッシュの使い方について復習する。 <p><夏休み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙啓発ポスター、薬物乱用防止啓発ポスター、私たちの自然を守ろうコンクールの中から一つを選択して制作する。 ・1年で学習した色彩の効果や構成美の要素等を工夫して構成をつくとともに、アクリルガッシュを使って表現する。
2 学 期	<p>ステンドグラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンドグラスというものについて学び、光と影の効果や特性を生かしたイメージを膨らませる。使用できる色数や材料に限りがある中で、より自分のつくりたいイメージに近づける工夫をしながら、プッシュステンドを使って疑似的にステンドグラスの作品を表現する。 ・デザインナイフの使い方について学ぶ。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞し、ダヴィンチについて学ぶ。
3 学 期	<p>お菓子のパッケージデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザインについて学び、自分の持つ願いとその願いを叶えるためのお菓子という設定からイメージを膨らませて、実際にありそうなお菓子のパッケージを表現する。 ・色彩の知識、構成美の要素、アクリルガッシュといった学習内容をよく活用しながら作品制作に取り組む。

3年 美術科年間指導計画	
1 学 期	<p>篆刻持ち手制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な篆刻の技法について学ぶ。 <p>彫刻刀を使って持ちやすいことを意識した上でデザインの計画を立てる。石を使った制作であることのイメージを膨らませて作品を表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活の中で、自分が使えるようなデザインにすることを目標に、モチーフや全体のデザインを考案する。
2 学 期	<p>水墨画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な描画材料である墨に触れる。墨の薄め方の加減によって濃淡の表現ができることや、筆の使い方の違いで様々な描き方ができることを理解し、白黒灰色という限られた色数の中にもたくさんの表現があることを味わいながら制作を行う。 ・伝統的な技法を学ぶとともに、自分なりのモチーフと組み合わせて表現する。
3 学 期	<p>篆刻印面制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な篆刻の技法について学ぶ。彫刻刀を使って篆刻にふさわしい書体で印面の制作をする。石を使った制作であることのイメージを膨らませて作品を表現する。 ・実際の生活の中で、自分が使えるようなデザインにすることを目標に、モチーフや全体のデザインを考案する。

制作の進度によって内容を変更する場合があります。